

臨時レポート

ロシア産原油の輸入禁止措置検討を受け日米株下落

ロシア産原油の輸入禁止措置検討を受けて日米株下落

- ▶ 7日の日経平均株価はウクライナ情勢の緊迫化に加え、原油価格の上昇などを受けて25,000円台前半で引ける。同日の米国株も下落。
- ▶ ロシア産原油の輸入禁止措置が発動されれば、世界経済への影響は大きく、日米株は下値を探る展開も。

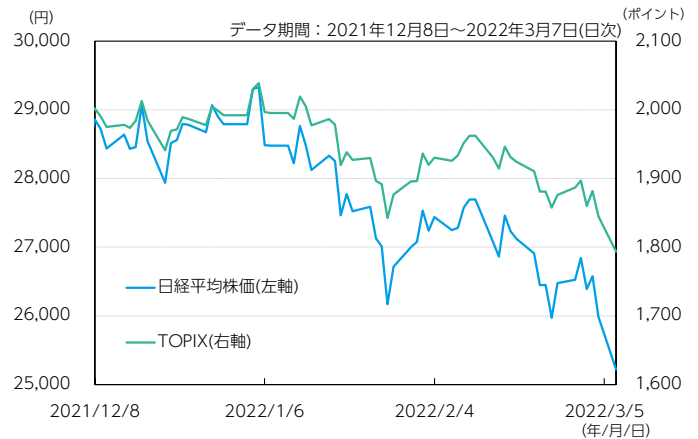
～原油価格急上昇で日米株下落～

- 7日の国内株式市場(日経平均株価)は、一時900円を超える下落となりました。日経平均株価は、前営業日比764.06円安の25,221.41円(同-2.94%)、TOPIX(東証株価指数)は同50.91ポイント安の1,794.03ポイント(同-2.76%)となりました(図表1)。(8日の日経平均株価は、前営業日から下落して寄り付きました。)
- 7日のNY ダウは前営業日比797.42ドル安の32,817.38ドル(同-2.37%)、ナスダック総合指数も同482.48ポイント安の12,830.96ポイント(同-3.62%)となりました(図表2)。
- ウクライナ情勢の緊迫化は続いており、停戦交渉は進展の兆しがみえていません。また、先週末には、ロシア軍がウクライナ南東部に位置する欧州最大級のザポロジエ原子力発電所を砲撃したとの報道をうけて日本株は大幅に値を下げました。米国政府がロシアからの原油の輸入禁止措置を検討するとの6日の報道をうけて、原油先物価格(北海ブレント5月限)は急騰しました(図表3)。週明け7日の日米株は原油価格の急騰が世界経済の減速に繋がるとの懸念から、幅広い銘柄が売られる展開となりました。

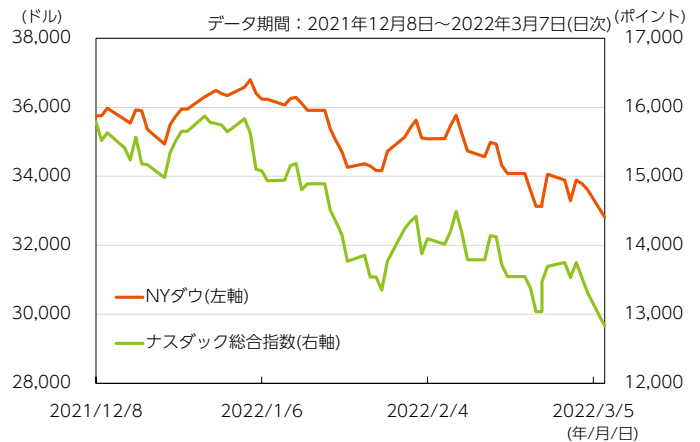
～ロシア産原油の輸入禁止措置は株価に影響～

- 日本を含む欧米諸国によるこれまでのロシアへの経済制裁は、世界経済への影響が大きいとしてエネルギー産業に対する制裁を除外する姿勢をとってきました。制裁の影響は、ロシアとの経済的な結びつきが強い欧州経済に限定されるとの見方もありました。今後世界有数の産油国であるロシアからの原油の輸入禁止措置が採られ、原油価格が更なる上昇を続けられれば、日米経済を含む世界経済全体への影響は避けられないことが想定されます。停戦交渉の進展などウクライナ情勢の緊迫化緩和の糸口が見つかるまでは、日米株は下値を探る展開となることも想定されます。

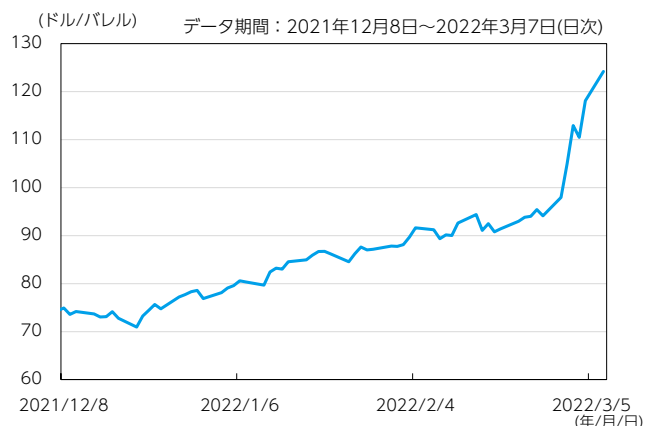
図表1：日経平均株価とTOPIXの推移



図表2：NYダウとナスダック総合指数の推移



図表3：原油(北海ブレント5月限)先物価格の推移



出所) 図表1～3はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>